

令和7年8月8日
大阪公立大学医学部附属病院

患者さんの状態悪化時、救命措置の実施までに遅れがあった事例について

当院において、患者さんの状態悪化時、救命措置の実施までに遅れがあった事例が発生しましたことをご報告いたします。

この事例におきまして、医療安全に関する会議を開催し、検討を行いました。その結果、患者さんの状態をモニタリングする医療機器の観察を継続的に行える体制整備を行うこと、看護師が患者さんの状態変化を速やかに判断し対応するための教育・トレーニングを強化することで、再発防止に取り組んでおります。

患者さん、ご家族の方をはじめ関係者の皆様には、今回このような事態を招いたことを深くお詫び申し上げますとともに、今後の再発防止に努めて参ります。